

フッドリバーと鶴田の友情は永遠に！



8月6日～12日までの7日間、姉妹都市盟約を結ぶ米国オレゴン州フッドリバー市から訪問団24人が来町しました。
今回の訪問団を引率したリサアン・カワチさんは、以前当町で国際交流員として勤務した経験があり、町民との再会を喜んでいました。

フッドリバー市民訪問団代表者 スピーチ



フッドリバー市
姉妹都市委員会会長
リサアン・カワチ

新型コロナウイルスが世界的に流行した中、私たちの姉妹都市としての絆が途絶えることなく交流を再開できたことは、何より喜ばしいことです。
今回の訪問でもきっと新たな出会いと友情が生まれると思います。訪問団員一同、ホストファミリーの皆さんとお会いできることを心待ちにしていました。鶴田町での生活を肌で感じ、体験する機会をくださったことに、深く感謝いたします。



アヤ・ヤスイ

温かく歓迎いただき、ありがとうございます。
私の曾祖父であるレイ・ヤスイは49年前、鶴田町と姉妹都市提携を結びました。弟のレンと私は、ヤスイ家の4代目として鶴田町を訪れ、温かく迎え入れてもらえることを大変嬉しく思っています。
私たちの家族はこれまで何度も鶴田町民をお迎えしてまいりました。旧友に再会できること、そして新しい友達を作れることを楽しみにしています。



8月6日の夕方、国際交流会館において、フッドリバー市民訪問団の歓迎会が盛大に開催されました。

はじめに相川町長が「日本の文化に触れながら、たくさんの思い出を作り、友好の輪を広げてください。」と歓迎の挨拶。続いて、第38回中学生大使の佐藤悠太さんが「鶴田町でお会いできて嬉しいです。ホームステイをぜひ楽しんでください。」と歓迎の言葉を贈りました。

その後、「名誉町民証」と記念品が贈呈されました。さらに、今年3月にフッドリバー市を訪問した中学生大使による体験発表が行われ、現地での貴重な学びや思い出を振り返りました。

アトラクションでは、鶴田町太鼓の会が力強い和太鼓や五ツ太鼓の演奏を披露。訪問団のメンバーも実際に太鼓の演奏を体験し、出席者と一緒に日本伝統文化を楽しみました。

会場は大きな拍手と笑顔に包まれ、国境を越えた温かい絆を深め合う貴重なひとときとなりました。



滞在中、訪問団は歴史文化伝承館や道の駅など町の観光施設を見学しました。今年改修工事が完了した鶴の舞橋を訪れた際には、橋の上から記念撮影を行うなど富士見湖の景観を堪能していました。

また、鶴田小学校での校舎見学のほか、鶴田中学校では中学生が訪問団一人ひとりの名前を漢字で考え、訪問団員は名前の書き方を教えてもらっていました。下山学園高等学校では、オリジナルのうちわ制作や弓道を体験。訪問団は交流を楽しみながらも、日本文化への理解を深めていました。

8月12日の正午、訪問団の出発を見送るため、多くのホストファミリーたちが集まりました。あちこちで別れを惜しむ涙があふれ、抱き合いながら再会を誓う姿も見られるなど、深く結ばれた絆を胸に訪問団は鶴田町をあとにしました。

河川防災情報を配信・提供しています

◆身近な河川の水位等をチェックしましょう

「河川砂防情報提供システム」では、国・県・気象庁が観測している雨量・河川水位・ダム情報等を確認できます。早めの情報収集、避難準備を心がけましょう。



◆お家のテレビで河川の水位が確認できます！

「地上デジタル放送」の「データ放送」で河川水位情報をわかりやすく、ご家庭のテレビで確認できるようになりました。

～操作方法～

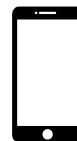
- ①「NHK総合」にチャンネルを合わせる
- ② テレビのリモコンの「dボタン」を押す
- ③ TOPメニューの「防災・生活情報」を選び、決定
- ④「河川水位情報」を選択



携帯電話版



スマートフォン版



■問い合わせ先

県土整備部 河川砂防課 企画・防災グループ ☎：017-734-9662
 西北県土整備事務所 河川砂防施設課 ☎：0173-35-2107

つるたまち議会活動報告

VOL. 22 (文責：議会運営委員会委員長 長内 齋)

当委員会は、佐藤剛議員を新たに委員として加え、8月10日に会議を開催し、新委員長にわたくし長内齋、そして副委員長に戸雅人委員を選任いたしました。

これまで、開かれた議会を目指すべく、定例会開催予定日の早期公表や議員の成り手不足問題を背景に議会をもっと知ってもらえるよう、町広報誌を活用した議会活動報告や議会一般質問のインターネット配信などに取り組んでまいりました。

今後も議会のスムーズな運営に資するよう議会の中心的な役割を果たすことはもとより、町民の皆さんに議会に関心を持ってもらえるような議会改革にも取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。